

所 沢 市 医 師 会 ニ ュ ー ス

<発行所> 所沢市医師会

(全10枚)

所沢市上安松 1224-7 TEL (04) 2992-8026 FAX (04) 2995-6635

メールアドレス tokoishi@tokorozawa.saitama.med.or.jp

ホームページ <http://www.tokorozawashi-ishikai.com/>

【ホームページ「会員専用ページ」について】(全会員共通)

ID(ユーザー名): tokorozawashiishikai パスワード: W8zDmc4f

No.804

2023. 1. 19 発行

予定表

月日	曜日	時間	行事名	場所
1. 20	金	—	広報・情報委員会	MCSにて代行
1. 26	木	19:00	学術講演会	ハイブリッド開催 ・所沢市民文化センター ミ ューズ(2階) ザ・スクエア ・Web配信
1. 27	金	19:30	後期理事会	所沢市医師会
1. 30	月	13:30	介護保険事業委員会	所沢市医師会
2. 1	水	19:00	所沢看護専門学校運営委員会	所沢看護専門学校
2. 5	日	9:00	所沢准看護学院 入学試験(二次)	所沢准看護学院
2. 6	月	19:30	所沢准看護学院 入試(二次) 合否判 定会・運営委員会	所沢准看護学院
2. 9	木	19:15	学術講演会	ハイブリッド開催 ・所沢パークホテル1階白峰 ・Web配信
2. 10	金	—	前期理事会	MCSにて代行

総務

1. 訃報連絡

★ 酒田 一秀 先生 (B 会員) (こぶしクリニック)
(令和 5 年 1 月 3 日ご逝去)

2. 入会

★ 坂井 康明 先生 (B 会員) (永仁会シーズクリニック)

診療科目：放射線科

施設所在地：東住吉 7-5

TEL：2903-7888 FAX：2903-7880

(令和 4 年 12 月 16 日)

3. 入会願いについて

下記の先生より入会願いが提出され 1 月 13 日の地域医療対策委員会において承認されました。

★ 桂 沙樹 先生 (B 会員) (桂医院)

診療科目：眼科

施設所在地：山口 1529-23

TEL：2924-0086 FAX：2924-0684

4. 異動

下記の先生の会員区分が異動になりました。

【令和 5 年 1 月 6 日付】

★ 星野 澄人 先生

(B 会員から A2 会員に異動)

5. 診療時間の変更願いについて

下記の医療機関から診療時間の変更願いが提出され、1 月 13 日の地域医療対策委員会で承認されました。

★ 木戸クリニック

変更後の診療時間

月、火、水：9：00～12：30、15：00～18：30

金：9：00～12：30、15：00～18：30

土：9：00～12：30

休診日：木、土(午後)、日、祝日

(2023 年 1 月 1 日より)

★ 久我クリニック (休診日のみ変更)

変更後の診療時間

月 9：00～12：00(耳),15：00～17：30(耳)

火、木、金

9：00～12：00(耳・内),15：00～17：30(耳)

土 9：00～11：00(耳)

休診日：水、土(午後)、日、祝日、第 4 火曜日午後
(2023 年 2 月 1 日より)

2023 年 1 月 19 日現在 [現在会員数]

A1 会員 177 名

A2 会員 61 名

B 会員 98 名

合計 336 名

広報・情報委員会

1. 【学校等欠席者・感染症情報システム】

会員専用ページで情報確認できます。

ID：18001 パスワード：8026

2. 所沢市医師会の原稿を募集しています。「会員サロン」「写真」等、皆様の投稿をおまちしております。

事務局だより

1. 〈二次救急病院の情報提供について〉

当会会員の先生から二次救急病院の情報提供の依頼がありました。所沢市保健医療課に要請したところ、二次救急病院(所沢市市民医療センターが実施している小児急患診療(小児初期救急)を含む)の情報提供がありましたので、医師会ホームページの「会員専用ページ」(※)に掲載しております。また、医療機関の変更もありますので、毎年度更新したものの情報が提供されます。

なお、一般市民には非公開となっておりますので取扱いには注意をお願いいたします。

※ [会員専用ページ ID・パスワードについて]

ID：tokorozawashiishikai

パスワード：W8zDmc4f (全会員共通)

2. 医療機関情報の変更や会員区分の変更等ございましたら、速やかに医師会事務局までお知らせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

3. 高血圧健康チェック手帳について

※医師会にございます。

4. 子育て相談窓口リーフレットについて

※医師会にございます。

5. 埼玉県若年性認知症支援コーディネーター配置に係るリーフレットについて

※医師会にございます。

6. 「あんしん在宅療養支援ガイド」(医療マップ)について ※医師会にごさいます。

介護保険事業

所沢市医師会介護保険事業のご案内

※ 訪問看護師、主任ケアマネージャー、社会福祉士、ケアマネージャー、登録ヘルパーを募集しています。求職中の方がいらっしやいましたら、是非ご案内下さい。

[松井西地域包括支援センター]

TEL 2994-1615

[居宅介護支援事業所] TEL 2994-1611

所沢市医師会の介護保険事業の窓口として、所沢市医師会居宅介護支援事業所と松井西地域包括支援センターがあります。

- ・介護保険の内容や高齢者の方の利用できるサービスを知りたい
- ・介護保険の申請をしたいがどうしたらいいかわからない
- ・認定を受けたが担当ケアマネージャーが決まらないなどの患者様からのご相談、ご要望をお受けいたします。

[訪問看護ステーション] TEL 2991-1590

医師の指示により、病状の観察・医療処置・医療機器の管理・療養のお世話（入浴や排泄の介助等）・ターミナルケア・リハビリテーション・家族への介護指導などを、看護師・理学療法士が訪問して在宅療養の支援を行います。

[ヘルパーステーション] TEL 2994-1620

住み慣れた自宅において、身体、その他の状況及び環境に応じて入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたり、介護福祉士、ヘルパー1・2級他の有資格者が訪問し、必要な援助を行います。

- ・介護保険…訪問介護、介護予防訪問
- ・自立支援法…障害者福祉サービス（外出介護、居宅介護）

[医療介護連携支援センター]

TEL:2902-6104 FAX:2902-6105

E-Mail:t-renkei@tokorozawa.saitama.med.or.jp

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、医療と介護の連携体制を構築し、より良いサービスが提供できるよう支援します。

1. 医療と介護の資源

ホームページをぜひご活用ください。医療介護情報を掲載しております。

2. 情報の共有支援

多職種・同職種間の情報共有、連携を深めるためMCSの活用を推奨しております。是非当支援センターまでお問い合わせください。

3. 相談支援

医療職・介護職からの相談を受け付けております。

4. 普及啓発

・「入退院時連携ガイドライン」「訪問看護ステーション一覧」「知っておきたい在宅療養」のパンフレットはホームページからダウンロードできます。なお、パンフレットは当センターにもごさいます。市民の皆さまにご活用いただくため、待合室等に置いていただけますようご協力をお願いいたします。

・2月24日（金）医療・介護職従事者向け講演会を18時半よりZOOMにて開催いたします。テーマは「グリーンケアの理解と実際」、講師は一般社団法人日本グリーン専門士協会 井手敏郎先生です。グリーンとは何か、またグリーンケアを通して患者様や援助者様（ご家族様、医療・介護従事者の皆さま）を癒すことの効果、更にグリーンケアの対応ができる人材育成を目指す講演会となっております。是非、ご参加ください。

5. 在宅療養支援ベッド

ホームページ、専門職ページにR4年10月からの輪番当番表を掲載しております。ご活用ください。

所沢准看護学院

会員の皆様、昨年度の卒業生に対し、求人情報をありがとうございました。おかげさまで全員、新たな道へスタートをきりました。今年度も施設に所属していない在校生がおります。引

き続き求人情報をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。詳細につきましては、下記に問い合せをお願ひ致します。

《連絡先》 所沢准看護学院 笹 かおり
TEL 04-2994-7087 FAX 04-2992-0391

令和5年1月前期定例理事会抄録

日 時 2023年1月13日(金)

MCS 代行

司 会 酒見副会長

1 報告事項

(1) 埼玉県医師会郡市医師会長会議について

資料1(赤津会長)

日時 2022年12月15日(木) 16時00分～

場所 県民健康センター 2階大ホール

資料のメモの通りです。県から患者の暴力・ハラスメント対応の在宅医療機関、介護事業所向けの相談窓口がつけられたことが報告ありました。所沢市医師会から感染爆発期においてマスク外しを奨励するような文書が県から発簡されたことについて見解を伺いましたが、明確な回答はありませんでした。

郡市医師会長会議(令和4年12月15日) (赤津メモ)

県からの発表 1. 在宅医療機関、介護事業所向けの相談窓口が作られた。埼玉県在宅医療暴力・ハラスメント相談センターの設置と説明

(質問) セクハラ事案のようなことも相談して下さいと警察が言っているようであるがいかがか → 県警のスタンスは積極的にかかわるとの意識その前に相談頂ければ、具体的事例についての対処の仕方、警察等へ行く場合の書類の整え方等についても教えて頂ける。

2. 小室議長: 今年にはコロナばかりでしたね。行動制限のない年末年始になるので患者様の御診療をよろしくお願ひ致します。

3. 会長挨拶: あとわずかです。診療報酬、かかりつけ医についてあり方を進める必要があります。かかりつけ医の考え方が財務省と厚労省で異なる。後者は医師と患者のマッチングが必要との考えで両者の同意形成が前提。かかりつけ医が一人である必要はなく、複数のかかりつけ医を持っても良いのではないかと思います。再来年が医療、介護、福祉のトリプル改定になりますね。厳しい財源の中での改定になります。混合診療のような自費部分を広げてくると思います。そのようなことにならないよう、日本医師会にしっかり話をしていきたい。

4. コロナについての報告(保健医療部、中村様): 陽性者数の推移: 昨日は10,684人。増加。即応病床使用率74.9%、陽性率の推移76.3%、後遺症外来191医療機関、診療・検査医療機関1,596か所(地域によってばらつきあり)。年末年始の診療・検査体制強化をお願いしたい。逼迫度: 44%が逼迫していると回答。インフルエンザ定点が昨年よりも上昇している。

5. ワクチン対策 オミクロンワクチン: 28.4%は接種済み。若い世代は接種が遅れている。モデルナワクチンの接種対象が18歳から12歳に改訂された。高校3年生のワクチン接種や高齢者福祉施設へのワクチンバス。

6. ゴコーバ登録が始まった。期限が来週22日までが1回、希望が多い場合は調整すると。700か所を予定。文書は行かない、県医師会経由。

7. 感染症対策課 高橋様：メリハリが必要である。教育局：補足
8. 医薬品の品薄について 開いている薬局についてはHPに公開してくれていると。
9. 抗原キット信仰は限界：検査キットによる自己検査を推進している。国からの指針による。発熱外来の逼迫を防ぐのが主目的です。医療機関に行かないようにするための仕組みです。

協議事項 1. 郡市医師会長から

(1) 感染爆発期における学校でのマスク外し奨励文書について（赤津）

学校でのマスク外しにより教育機会に悪影響を与える報告がNEJMに出ている。また、12月1日の都のモニタリング会議で提出された富岳の成績でもマスクは非常に重要な位置づけであるので県の見解を伺いたい、外しを推奨する科学的根拠はあるのか。 答え：明確な回答はなかった。

(2) 12月から1月にかけての診療・検査体制の強化体制について（狭山医師会長遠藤先生）

平日は門前薬局の対応で大丈夫だが、休日、夜間等には1か所の薬局に処方集中して、薬が足りなくなる可能性がある。休日、夜間に開いている薬局の情報を県のHP等に掲載していただけないか。

答え：明確な回答はなかった。 補足：薬剤師会の一部では休日当番薬局をHPに掲載しているところがある。所沢市でも実施している。また、ネットで検索（休日当番薬局、埼玉県）するとドラッグストア等は出てくるようでした。

【追加 報告事項】

1月の郡市医師会長会議に所沢市医師会から准看護学院へ県からご支援を御考え頂けないか提案してみます。酒見先生、古敷谷先生等が入学者を集めるためにご苦労なさっていることですが、准看学生は経済的に困窮している方が多いのに光が当たらないことが念頭です。

〔郡市医師会長会議検討テーマ（日付：令和5年1月26日）〕

郡市医師会名： 所沢市医師会

検討テーマ： 准看護学院で活用できる奨学金制度の充実について

要旨： 医師会立看護専門学校、准看護学院は埼玉県に就職する看護人材育成の場として非常に重要であるが、年々運営は厳しさを増している。上田県政の頃に金井会長と陳情に伺ったが、時代の流れか、状況が好転することはなかった。埼玉県は医師、看護師共に全国最低レベルの充足であるが、今回のコロナ禍で地元人材育成が重要であることが再確認できた。すなわち、平素東京で診療を受けている県民の診断、治療まで埼玉県の医療・看護従事者が担当することになった。診療・看護の逼迫は医師会会員全員が共有していると思う。地元で働く看護人材育成はレカレント教育、母子家庭の就業支援、将来の納税者確保のために重要である。教育の充実は中、高、大学の若者に限定すべきではない。年齢を問わず、やり直しの効く場としての医師会立学校への奨学金制度の充実が求められる。介護士、介護補助者に対する財政支援が続く中で准看護師、看護師へのキャリアパスを描くことを躊躇するのは学費、生活費負担の面が大きいと思う。准看護学院では看護専門学校に比較すると活用できる奨学金が少ないし、人数も限定的である。隣接する東京都は実質給付型奨学金と同様な修学資金制度を令和4年4月から運用しており、このままだと埼玉は人材を育成するだけの場として活用され、地元の人材充実には繋がらない。埼玉県においても東京都と同様な仕組みのご配慮を頂けないか検討をお願いしたい。検討の場合は東京から埼玉の学校に入学し、埼玉で勤務を希望する場合の奨学金制度の創設になると思う。

- (2) 発熱外来PCRセンター整備事業業務（単価契約）契約書を変更する 資料2（赤津会長）
契約書について

単価契約について従前と同じで継続する確認書類です。

(3) 広報ところざわ3月号特集記事へのご協力について 資料3(赤津会長)

所沢市から広報ところざわ3月号に、がん検診に関する特集記事を掲載するのでご寄稿をお願いしたいと依頼があり、がん検診の重要性をアピールする記事を岩下先生にお願いしました。

(4) 生活習慣病ネットワーク協議会共催の講演会について 資料4(赤津会長)

心腎代謝連関講演会

～SGLT2阻害薬の有用性とは～

日時 2023年2月8日(水) 19時00分～20時30分(Web配信 Zoom)

(1)講演1 19:00～19:45

座長 はせがわクリニック 院長 長谷川 耕太郎 先生

演題 「心腎代謝連関を考慮した心不全治療」

演者 所沢ハートセンター 副院長 三宅 隆之 先生

(2)講演2 19:45～20:30

座長 西埼玉中央病院名誉院長/瀬戸病院 糖尿病センター長 成宮 学 先生

演題 「心腎代謝連関を考慮した糖尿病治療」

演者 今城内科クリニック 院長 今城 俊浩 先生

医師に加え、メディカルスタッフも参加できる勉強会を続けるため製薬会社の協力を頂き企画しています。

(5) 介護保険事業委員会について 資料5(伊藤理事)

日時 2022年12月19日(月) MCSにて代行 参加者8名

検討事項としてヘルパーステーションの赤字経営に関し、資料の通り委員の先生方のご意見を伺いました。是非、ご一読いただき理事の先生方からもご意見をお伺いできればと思います。

(6) 医療介護連携委員会について 資料6(伊藤理事)

日時 2022年12月21日(水) MCSにて代行 参加者10名

報告事項になりますが、在宅療養支援ベット事業に関し、利用件数が少なく、利用している病院も1病院に限定されていることもあり、輪番当番制を2023年度上半期は経過措置として廃止することになりました。これまで輪番当番を担っていただいていた病院のご協力に感謝いたします。有難うございました。

(7) 医師会会計の執行状況について(2022年11月) 資料7(古敷谷理事)

全体として収益も費用も前年度比減額ですが、収益の減額幅の方が大きい為、経常収支は赤字となっております。ただ予算比ですとほぼ予算通りに執行されているといった状況ではあります。

(8) 大腸がん検診票の総合判定欄について 資料8(古敷谷理事)

至急の案件につき、大腸がん検診委員会委員長の今城先生にお目通しを頂いた上で、既に会員一斉メールを行なっておりますが、大腸がん個別検診にて一部検診票の総合判定欄に誤った記載があったようです(「陽性(+)」と印字されるべき部分が「陰性(+)」となっている)。対処方法を含めて送信しております。

(9) 学術講演会について (廣瀬理事)

日時 2022年12月22日(木)19時00分～20時00分(Web配信 Zoom)

参加者 16名(うち医師会員8名)

座長 小手指医院 院長 古敷谷 淳 先生

演題 「女性泌尿器疾患について」

演者 防衛医科大学校 泌尿器科 講師 黒田 健司先生

※日本医師会教育講座1単位として開催(CC:65 排尿障害)

(10) 学術講演会について 資料9(廣瀬理事)

日時 2023年1月26日(木)19時00分～20時00分(ハイブリッド開催)

座長 小手指整形外科 院長 柑本 晴夫 先生

演題 「脊椎関節炎を疑うポイントと適切な診断・最新治療」※(演題名変更)

演者 東邦大学医学部 内科学講座 膠原病学分野 教授 亀田 秀人 先生

※日本医師会生涯教育講座1単位として開催(CC:59 背部痛)

2 協議事項

(1) 所沢市介護給付費等の支給に関する審査会委員の推薦について 資料10(齋藤拓郎理事)

鈴木則之先生の後任として事務局で新規入会の先生と調整した結果「山口えのき眼科 岩本朋之先生」に内諾をいただきました。現委員である奥本先生、松岡先生、佐藤光春先生、福本先生、ヘルパーステーション久保管理者に関しては退任のご意向はありませんので、所沢市介護給付費等の支給に関する審査会委員として以上6名の先生を推薦することによろしいでしょうか。

協議の結果、引き続き奥本先生、松岡先生、佐藤光春先生、福本先生、ヘルパーステーション久保管理者、新たに山口えのき眼科 岩本朋之先生を推薦することが承認された。

(2) 令和5年度生活保護業務に係る嘱託医の推薦について 資料11(齋藤拓郎理事)

現在、生活保護業務に係る嘱託医については、けやき台どんぐりクリニック新井哲彦先生と航空公園クリニックの石井正宏先生が務められています。お二人から退任の意向は示されておりませんので引き続き新井哲彦先生と石井正宏先生を推薦することによろしいでしょうか。

協議の結果、引き続き新井哲彦先生と石井正宏先生を推薦することが承認された。

(3) 令和5年度所沢市いじめ問題対策委員の推薦について 資料12(齋藤拓郎理事)

現在、所沢市いじめ問題対策委員については新所沢キッズクリニック小林治先生が務められています。既に担当課である学校教育課が小林先生に委員の継続について内諾をとっているとのことですので、引き続き小林治先生を推薦してよろしいでしょうか。

協議の結果、引き続き小林治先生を推薦することが承認された。

(4) 所沢市介護認定審査会委員のご推薦について 資料13(伊藤理事)

前回の理事会でもご相談させていただきましたが、所沢市より委員の任期満了に伴い令和5年度に36名の委員の推薦依頼がありました。資料をご覧いただいているように委員を10年以上勤められ退任を希望される先生も多数いらっしゃる為、その補充の為に前回理事会でご覧いただいた会長と私の連名にて医師会の新入会員の先生方に協力依頼のアンケートをお送りしました。結果としては、多

くの先生方からはお断りの返事となりました。事務長に各先生にお願いの電話攻勢をしていただき小野田先生と渡邊先生にご協力をいただけることになりましたが、市からの要望の36名には達せず一名欠員となりました。しかしながら合議体委員長の人数は医師会の先生方で足りている為に、機能の面では問題ないと思われまます。この為、一名欠員の分は他の団体から補充していただきたい要望を出したいと思ひます。ご賛成いただけますでしょうか？何かご意見があれば、是非お願い致します。

(赤津会長)

お疲れ様でした。やはり、やって頂ける先生を集めることが大変ですね。練度をあげるためには年数が必要ですが、休日外来のように義務的にするなら定期的な交代が望ましいですね。開催曜日や時間に柔軟性が加わると参加の可能性が広がると思ひますがそう簡単ではないのでしょね。他の役員とも調整が必要ですし。私が聞いたところでは比企医師会では科を問わず当てていてますとのことでした。

(今城副会長)

伊藤先生、大変お疲れ様でした。介護保険認定審査会委員の改定の時期はいつも大変なのですが、今回は10年以上の委員の8人が退任希望だったため、例年よりも難しかったと思ひます。赤津先生、齋藤先生、廣瀬先生のご意見のように、輪番制が望ましいのは言うまでもありませんが、現実的には難しいかと思ひます。と言うのも、2019年に地域包括ケアシステム参加について、アンケート調査を行ったところ、160医療機関からの返信時点で、可能=81、条件付き可能=12、不可能=67と不可能の返信がかなり多かつた事実があります。これは年に1-2回、地域ケア個別会議(介護の事例検討)か医療介護連携会議に参加するという、月2回の介護保険の認定審査会に比べると非常にハードルの低いデューティでしたが、それでもこの結果です。産婦人科や小児科の先生は、診療科の特性から参加する気はないというお返事をたくさんいただきました。更に、このアンケートで参加可能としていた医療機関でも、今年度からの地域包括ケアシステムでの会議への参加を昨年4月に打診した際、半数以上で断られ、事務局と私が電話をかけまくって確保したという事情があります。輪番制で委員になっていただくのは正論ではありますが、長年医師会の会員であられた先生方に強制するのはどうかと思ひます。強制するなら、有無を言わせず全員平等にということになるでしょし。なので、今やっているように、これから入ってくる会員の先生への面接で、介護保険認定審査会や地域包括ケアシステムの会議に参加していただく、つまり、新入会の先生に参加を徹底していくしかないのではと私自身は思ひます。それから、今はZoomでの会議を取り入れ、半数近くの合議体で実践しており、私も自院で参加できるようになり、大変楽になりました。それで、委員就任を承諾していただいた先生も多かつたように思ひます。ただ、今一度、介護保険認定審査会委員の選び方について、理事会で議論をしましょう。次回の改定は2年後なので、来年の今頃議題としてあげて検討してもいいですし、ホットな話題となっている今、早々と議題にした方がいいかもしれません。私が輪番制検討委員会での資料を持っておりますから、その時は私から協議事項としてあげます。

(齋藤拓郎理事)

伊藤先生、事務長ともに大変な作業だったと思案いたします。本当にありがとうございました。建前ではなく、介護認定審査会は医師会が高齢社会、地域医療に資するために、真に重要な業務と考えます。介護審査会はおそらく最も頻繁に行われている医師会が関与する(できる)市民のための業務の一つです。対象は高齢者がほとんどですが若年者も含まれていてます。市民のための医師会、と謳うのであれば最も役立つ可能性が高い業務と言えるのではないでしょか？確かに専門科による特性はあると思ひますが、他の職種を見ると歯科医、看護師、薬剤師のみならず、ケアマネ、鍼灸、介護士など多くの方々に関与していてます。決して特殊な知識が必要なわけではなく、医師国家試験を経

ているのであれば誰でも参加できると思います。例えば歯科医師会は2年周期で輪番制で参加しているようです。もちろん経験者や高齢の先生、予防接種、学校医など多くの業務を抱えている先生もいらっしゃるので、除外条項は必要と思います。皆様のご意見はいかがでしょうか？

(廣瀬理事)

伊藤先生、お疲れ様でした。私も10年以上、介護認定審査委員をやりましたので、その大変さが理解できます。月に2回、外来の時間を気にしながら慌てて審査会に出かけておりました。私の個人的な意見ですが、齋藤先生と同じで、輪番制にすべきではないかと思います。介護保険は医師会員、非医師会員を問わず関わるものですので、少なくとも医師会員は公平に輪番制で担当につく方が良いのではないのでしょうか。サイクルは2年程度が好ましいと考えます。もちろん体調など考慮すべき事もあると思います。

(福本理事)

齋藤先生のご意見に賛成です。僭越ながら審査員を務めさせて頂いておりますが、超高齢化社会において診療していく時代に、主治医意見書や介護サービスについても、直接携わる事のない先生方のご理解の促進に繋がると思います。またケアマネさんからも、分からないから書かないといった残念なケースも耳に致します。医師会所属の医師の介護連携の意識の底上げとしても、除外項目はあるとして、会議自体の拘束時間は短いので、輪番制が良いのではないかと思います。

協議の結果、35名の先生方を推薦することが承認された。また合議体委員長の数人は医師会の先生方で足りている為、市に1名欠員分は他の団体から補充していただくよう要望を出すこととなった。

【追加 協議事項】

(今城副会長)

追加でお願いしたい議題です。医療介護連携支援センターからですが、地域包括支援センターから「医師会のブロック割の一覧を送ってほしい」との要望がありました。機密文書ではありませんので、よろしいでしょうか？

協議の結果、地域包括支援センターへ医師会のブロック割の一覧を送ることについて了承された。

埼玉メディカル各種保険のご案内

埼玉メディカルでは、下記のとおり各種保険を取り揃えておりますのでお気軽にご利用ください。

■ 医療行為に対する賠償事故に備えて

商品名	加入資格	内容・特徴	団体割引
医師賠償責任保険	会員 会員開設医療法人	①医療上の事故における賠償責任 ②建物、設備の使用上の事故および給食等による事故における賠償責任	20%

■ 休業の補償に備えて

商品名	加入資格	内容・特徴	団体割引
所得補償保険	会員 会員開設医療法人 会員施設の従業員	病気やケガによる就業不能中の所得を補償。1年間保険金のお支払がなかった場合、保険料の20%をお戻しします。	25% (H23/9/1から)

■ 医療費の補償に備えて

商品名	加入資格	内容・特徴	団体割引
団体総合生活補償保険 (病気・ケガ補償)	会員 会員開設医療法人	病気やケガによる入院・手術・通院を補償。日帰り入院から最長180日まで定額でお支払。ケガによる死亡・後遺障害もカバー。	25% (H23/9/1から)
団体総合生活補償保険 (ケガのみ補償)	会員 会員開設医療法人	ケガによる死亡・後遺障害・入院・通院を補償。入院及び通院は初日から定額でお支払。天災によるケガをカバーするプランも選べます。	25% (H23/9/1から)
産業医傷害保険	産業医(会員のみ) 委嘱企業	産業医勤務中及び通勤途上のケガによる死亡・後遺障害・入院・手術・通院を定額で補償。	就業中のみ担保 10%

■ 自動車事故・火災に備えて

商品名	契約資格	内容・特徴	集団割引
集団扱い ・自動車保険 ・火災保険	会員・1人医療法人 およびその従業員	・口座振替によるキャッシュレス。 ・分割割増なし ・保険料5%割引	5%

お問い合わせ先:

取扱代理店 有限会社埼玉メディカル

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町3-5-1 Tel 048-823-9230

引受保険会社 損害保険ジャパン日本興亜(株) 東京海上日動火災保険(株) 三井住友海上火災保険(株)

